

## 【保護者が連絡ノートを見るときに思いの想像】

### 1. 連絡ノートを開く「直前」の心理

- 今日は事業所で楽しく過ごせたかな？
- お友達とトラブルを起こして、先生や相手に迷惑をかけていないかな…
- また「困った行動」の報告が書いてあったらどうしよう、開くのが怖いな。
- 今日も仕事でクタクタだ。ノートを読む心の余裕が残っているかな。
- 家では暴れて手がつけられないけれど、事業所での様子はどうだっただろう。

### 2. ネガティブな内容（NG 例など）を読んだ時の心理

- やっぱりうちの子はダメなんだ…と、自分を責めて落ち込む。
- 「家でも指導してください」って言われても、具体的にどうすればいいのか分からない。
- 先生たちはプロなのに、家でもがんばって突き放された気がする。
- うちの子の「悪いところ」ばかり目について、先生たちに嫌われていないかな。
- 言い訳みたいに聞こえるかもしれないから、返事（返信）に何て書けばいいか悩む。
- こんなに毎日がんばって育てているのに、私の育て方のせいでこうなったと言われている気がする。
- 「ふてくされていた」って、うちの子の気持ちに寄り添ってくれなかったのかな…

### 3. 環境や背景による個別の心理

- （きょうだい児がいる場合）上の子（下の子）の面倒で手一杯なのに、これ以上家で課題を出されても対応できない。
- （仕事が多忙な場合）じっくり読む時間がないけれど、大切な連絡を見落としていないか不安。
- （パートナーや祖父母と同居の場合）このノートの内容を家族に見せたら、また「育て方が悪い」と私が責められるかもしれない。

### 4. ポジティブな内容や、適切な支援が書かれていた時の心理

- **家では見せない一面**（できたこと）が知れて、我が子の成長がすごく嬉しい！
- 私の育て方が悪いわけじゃないんだ、と**救われた**気持ちになる。
- 先生たちがしっかり**味方になって**関わってくれているのが分かって、すごく安心する。
- 「悔しかったんですね」と書かれていて、我が子の**特性や気持ちを理解**してもらえて涙が出そう。
- **プロの対応**（声かけなど）が書いてあるから、家でも真似してみようと思える。
- 先生たちがこれだけ味方でいてくれるなら、明日からもまた子育てを**がんばれそう**。
- この事業所に、**この先生たち**に出会えて本当によかった。